



富山県立大学 COC ニュース vol.3



CONTENTS

地域協働授業研究レポート
学生団体COCOS
地域協働授業成果発表会
地域協働授業実施状況

平成 26 年度後期地域協働授業レポート

富山のくすり産業の歴史と現代の産業上の問題点

教養ゼミ 川端繁樹准教授

■実施概要

県厚生部くすり政策課より「富山のくすり産業と現代の産業上の課題」と題して講演をいただきました。

具体的な数値データをもとにお話しいただき、わかりやすく拝聴できました。

学生自身は1年生で経済・文化・歴史の知識も発展途上のため、理解が難しいところもありましたが、学年進行と共に関心を抱き、研究や就職といったところにつながっていくことが期待されます。

また、より深く現状を学ぶため、製薬会社での見学と意見交換会を行い、薬研究開発の現状とその課題等について活発な意見交換を行いました。



■参加 TA 学生の感想

富山の薬産業の歴史と現代の産業上の問題点などについて、県厚生部くすり政策課より事前に講演を受け、現在富山県の薬業界における問題点、くすり富山の課題などについて話を聴くことができました。

広貫堂資料館では、富山の配置薬のルーツを学びました。先に薬を使って、後払いで代金を清算するという「先用後利^{せんようこうり}」という利用者本位の販売精神、そこにお客様への思いやりというものを感じました。見学の後、研究開発部の方々との意見交換会では、薬を製造する上での問題点と課題について、学生の考え方も理解された有意義なものでした。今後、機会があれば関わっていきたいと思います。



コミュニティ FM の役割

教養ゼミ 井戸啓介講師

■実施概要

学生がエフエムいみずの方々との交流を行い、ラジオの地域における役割や課題について考えてきました。10月には同局の柴田茂樹代表取締役役に特別講師としてご講演していただきました。また、昨年の大晦日に放送されたラジオ番組を協働で企画・制作を行いました。

■参加 TA 学生の感想

どの学生もラジオ番組制作に意欲的に取り組んでくれたと思います。3つのグループともに、面白い番組内容になっていたのが驚きました。私もラジオ番組制作に関わり、ラジオと地域のつながりを感じることができました。これを機にラジオの重要性を伝えていければと思います。



近代化遺産について

教養ゼミ 原口志津子教授

■実施概要

地域の近代化遺産について実施調査を行うとともに、文献を読むことによって、知識を得ました。その魅力を生かす方策についての調査研究を行い、その成果をレポートしました。その中で、自治体との対話・交流、協働を通して、地域の課題を発見し、その解決に結びつくような新たな視点を検討しました。



■参加 TA 学生の感想

ゼミに参加する学生たちが、竹内源造記念館と呼ばれる場所に見学した体験をもとに、思ったこと、またその施設の曳き家工法について発表をしました。学生たちは、初めのうちはあまり乗り気ではなかったようだが、発表の日が近づくにつれて真剣に取り組むようになったと思います。ゼミの初めの段階で意欲的に取り組んでもらえるようにできなかったのが私の反省点です。



新幹線時代の公共交通を考える

トピックゼミ 小林一也准教授

■実施概要

富山県の都市と公共交通の歴史について 10 月 31 日に県立公文書館で「とやまの鉄道物語」展を見学しました。実施調査として射水周遊公共交通ツアーを 11 月 8 日に実施し、万葉線の車庫、富岩運河の中島閘門等も見学しました。11 月 28 日に「新幹線富山駅と富山市のコンパクトな街づくり」について富山市公共交通企画係から講義を受け、熱心な質疑応答がされました。また、12 月 5 日に公共輸送機の最終処分として国内唯一の日本総合リサイクルで鉄道車輛の解体を見学し、成果を 1 月 30 日に発表しました。



小学校での理科実験教室

トピックゼミ 中島範行教授

■実施概要

地域の小学校である射水市立堀岡小学校にトピックゼミⅡの学生11名が訪問し、小学校5年生には「ものの溶け方」について、小学校6年生には「水溶液の性質」に関する理科実験教室を実施しました。



プラネタリウム制作教室の実施

専門ゼミ 野村俊教授・神谷和秀准教授・松本公久講師

■実施概要

地域の子どもたちの科学離れ対策を目的に、富山環境フェア2014にてプラネタリウム工作教室を実施しました。なお、学生が主体となり、工作準備を進め、工作教室自体では学生が地域の親子と交流し、科学の魅力を知ってもらえるように説明等を行いました。



黒部川小水力発電事業について考える

専門ゼミ・卒研ゼミ 星川圭介講師

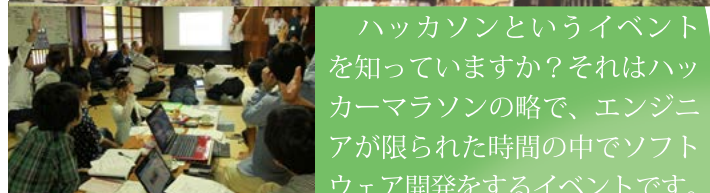
■実施概要

北陸電力、黒部市、新川農林振興センターの担当者の説明を受け、黒部川流域の小水力発電について説明を受け、製造時期により、国の補助金が受けられない、農業用水との兼ね合いといった課題があることが明らかになりました。今後学生たちが課題を考える契機となりました。



その他のゼミについては地域協働支援室前に掲示してあります。

今、富山県立大学で最もアツい 彼らの活動をご紹介します!!



公共交通ハッカソン
@ 世界遺産五箇山

ハッカソンというイベントを知っていますか？それはハッカーマラソンの略で、エンジニアが限られた時間の中でソフトウェア開発をするイベントです。今回、私達が協力させていただいたハッカソンもまさにアイデアを形にする3日間

です！南砺市の公共交通の問題を解決したい、という熱い想いを持った人達とアプリ開発に奮闘しました。



進撃のすり身
2014 IMIZU SURIMI

旧市町村の壁を打ち壊す！
そんな思いで始まったのが、射水の新ブランドを生み出すこの進撃のすり身です。すり身を使った新しいレシピを市民の方々に考案していただき、その中でNo. 1のレシピを決めました。しかし、進撃のすり身はこれで終わりではありません。No. 1となった「射水のすり身しゅうまい」を5月から射水市内の飲食店・スーパーにて発売します！ぜひ、見かけたら進撃しちゃってください！



JCI 射水青年会議所
Junior Chamber International IMIZU
World Federation of Young Leaders and Entrepreneurs



エコビレッジサミット
南砺型環境・生命文明社会の構築を目指して

このイベントでは持続可能性を目標としたまちづくりについての会議を行いました。そこでなんと、COCOSのメンバーがファシリテーターという重要な役割に！会議の潤滑油となり、参加者の歯車を噛み合わせ、円滑に会議を進行しました。普通の授業じゃ学べないこともCOCOSなら学ぶことができます。

会議を回すファシリテーター



そして
2015年は…？

北陸ひとまち百貨展
富山支部

射水祭り
ここから始まる射水の挑戦

etc...



COCOSとは

COC 事業を学生主体で取り組んでいくために、2014年4月に発足された県立大学の学生団体です。成長したいと思っている、自分のできる事を探したいそんな学生は大歓迎です！私達と一緒に富山県の問題を解決していきましょう！！いつでも連絡待っています！！

所在地：環境棟3階 地域協働支援室
mail: tpu-cocos@outlook.jp
代表：高松将也
代表連絡先
mail: t215028@st.pu-toyama.ac.jp
facebook: https://www.facebook.com/tpu.cocos
QRコードはこちら→

○ 2014 年 1 月 30 日 (金) の発表

- | | |
|--|------------|
| 1. 「地域企業経営者から科学技術と社会、技術者としてのキャリア形成について学ぶ
―株式会社インテック最高顧問 中尾哲雄氏との対話を通じて―」 | 濱トピックゼミ |
| 2. 「『くすりの富山』への提言」 | 牧野トピックゼミ |
| 3. 「新幹線時代の公共交通を考える」 | 小林トピックゼミ |
| 4. 「中学生を対象とした手作り鉱石ラジオの製作教室の実施」 | 石坂トピックゼミ |
| 5. 「射水市コミュニティバス路線の全体最適化」 | 榊原トピックゼミ |
| 6. 「射水市内小学校での理科実験」 | 中島トピックゼミ |
| 7. 「富山湾の発光生物の探索と利用に関する卒業研究」 | 卒業研究 (浅野研) |



司会進行役

情報システム工学科 3 年

伊達 伸之輔さん (左) 高松 将也さん (右)

この日の発表では 6 つのトピックゼミと 1 つの卒業研究の発表でした。鉱石ラジオの作り方を教えたり、コミュニティバス路線の最適化を行ったりなど COC 事業の中でも実に工学部らしい内容の発表が多く、どれも興味深かったです。発表を聴きながら思わず「へー」と声を出して感心していたのですが、それはきっと私達だけではないでしょう。時間があっという間になくなってしまったように感じた成果発表会でしたが、このハイレベルな発表の舞台で司会できたことは誇りに思います。発表者の皆様、お疲れ様でした！

●トピックゼミでの取り組みについて教えてください。

中学生に向けてのラジオ製作教室、およびそれに向けての練習を主にやりました。

●発表の仕方の参考にした人はいますか？

スティーブ・ジョブズですかね、カジュアルな服装を (笑)

情報システム工学科

2 年 石坂トピックゼミ

新井 雄登さん



●成果発表会についてどう思いましたか？

榊原トピックゼミのバス路線の最適化の話が面白かったです。

●何か大変だったことはありますか？

本番前日にペットボトルを用意するのを忘れていて、ジュース 30 本を 9 人で必死に飲んだことですね。

●トピックゼミでの取り組みについて教えてください。

富山県の素材を使った化粧品を作ろう！というテーマで化粧品会社に案を提案と、小学校 (5,6 年生) の授業の時間を借りて理科の実験教室をしました。

●実験教室をやってみてどう感じましたか？

小学生に教えるときに 1 学年違うだけでも理解度が違って、言葉を選んで話さないとい伝わらなかったりするのが難しかったです。

生物工学科

2 年 中島トピックゼミ

中澤 舞さん



○ 2014 年 1 月 29 日 (木) の発表

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 「竹内源蔵記念館の復元と鍔絵『双龍』の移設について解説します」 | 原口教養ゼミ |
| 2. 「新幹線開業に伴う新高岡交通体系の整備について」 | 中村専門ゼミ |
| 3. 「富山県の中小部品製造業が抱える課題の把握と加工技術の提案」 | 岩井専門ゼミ |
| 4. 「とやま環境フェアでのプラネタリウム製作教室の実施」 | 松本専門ゼミ |
| 5. 「ビブリオバトルによる地域の読書推進活動」 | 榊原専門ゼミ |
| 6. 「小矢部市中山間部における大気環境観測」 | 渡辺専門ゼミ |
| 7. 「地域FMラジオ局との協働：ラジオ音楽番組の制作」 | 井戸教養ゼミ |
| 8. 「学生団体COCOS活動報告」 | 地域協働研究会
C O C O S |
| 9. 「南砺市の魅力を発信－アンケート調査をもとにして－」 | 旅行サークル |
| 10. 「北陸新幹線新高岡駅アクセスのための城端線・氷見線直通運転の提案」 | 西田専門ゼミ |

司会進行役
情報システム工学科
2 年
櫻井 築さん (左) 津村 祐さん (右)



地域協働授業成果発表において、初日は7組のゼミと1組の卒業研究・専門ゼミの合同グループ、2組の学生団体の計10組のグループが発表を行いました。ゼミの方々の発表は、授業で調べた、また研究した成果をもとに発表されました。その中で、ラジオ音楽番組の制作を行ったグループがいました。発表内容に面白味があり、当日は司会者ながら質問をさせてもらいました。今後もこのような学生の地域協働授業・研究の発表の場を設けていただきたいと思います。

● サークルでのCOC活動の取り組みについて教えてください。

南砺市の魅力発信を行いました。南砺市の観光名所を訪れたり、城端庁舎の方に話を伺ったりしました。また、それを元にダ・ヴィンチ祭ではアンケート調査を行いました。

情報システム工学科
3 年 旅行サークル
稲場 美央さん



● COC活動に関わってどう感じましたか？

南砺市について知る機会があまりなかったので、今回南砺市へ行ったりアンケート調査を行ったりして南砺市の魅力を発見することができてよかったです。

● 専門ゼミでの取り組みについて教えてください。

ビブリオバトルによる地域の読書推進活動に関する取り組みや、指定された本で輪講を行いました。

● COC活動に関わってどう成長しましたか？

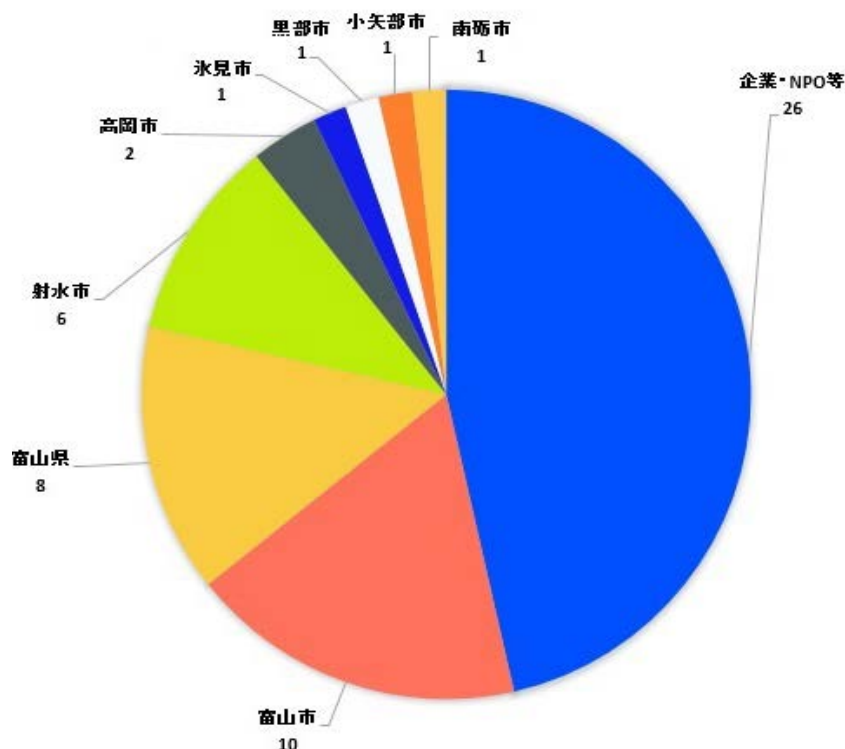
本に触れる機会が増えました。ビブリオバトルでは本を理解する能力や理解したことを伝える能力が必要でした。ビブリオバトルをすることによってプレゼンテーション能力が身に付きました。

情報システム工学科
3 年 榊原専門ゼミ
浅井 康平さん



平成 26 年度後期 地域協働授業実施状況

連携先別地域協働授業数



連携先別地域協働授業数割合

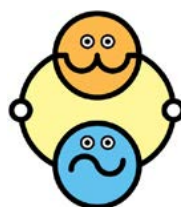
【内訳】（順不同）

万葉線株式会社
株式会社インテック
日本総合リサイクル株式会社
株式会社エフエムいみず
株式会社ミズノマシナリー
株式会社陽進堂
朝日印刷株式会社
北陸電力株式会社
有限会社シモタニ
カフェゴッコ
RACDA高岡
太閤山小学校おやじの会
ネットワークアシストたかおか
ITサポートとやま
越の国自然エネルギー推進協議会
NPO 法人富山湾を愛する会
国土交通省
富山漁業協同組合
灘浦かんきつ研究会
JA宇波支所

科目別地域協働授業実施状況

教員 所属	トピックゼミ 11	教養ゼミ 11	専門ゼミ	プレゼン 演習	卒業研究	合計
教養	4	5	0	0	0	9
機械	1	0	0	1	2	4
知能	2	0	9	0	0	11
情報	2	0	3	0	0	5
生物	2	0	0	0	1	3
環境	1	0	6	0	3	10
合計	12	5	18	1	6	42

今期も多くのゼミが
地域協働授業に
取り組みました。



アクティブラーニング協働スペース利用案内

場所 環境工学科棟 333 号室

対象 全学生

利用時間 8:50 ~ 19:00

※休暇中において変更する場合がございます。

＜利用申し込み方法＞

地域協働支援室（内線 255）、又はメールで申し込み：
件名・学科・学年・氏名・利用日及び時限を記入

coc1@pu-toyama.ac.jp



〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

TEL. 0766-56-7500(代) FAX. 0766-56-8022

URL. <http://www.pu-toyama.ac.jp>